

各位

近年、我が国で慢性血栓塞栓性肺高血圧症 CTEPH (chronic thromboembolic pulmonary hypertension) 症例に対して肺動脈バルーン形成術 (BPA: balloon pulmonary angioplasty) が行われ、症状、血行動態、生命予後が改善することが報告されていますが、全国での大規模なエビデンスが十分構築されていません。そのため BPA の全国的な治療実態を調査し、手技の効果、安全性のみならず抗凝固療法や肺高血圧症治療薬等の内服薬等の使用についても詳細に解析、検討することが必要です。日本循環器学会は今後の国内での BPA の効果的、安全な治療を継続し、より発展するためには BPA レジストリーを継続し、有効性、安全性のエビデンスを継続して発信する責務があります。また本会は BPA の指導医、実施医そして実施施設基準を設定しており、本レジストリーの登録がその認定に使用されます。この J-BPA レジストリーは国内施行医および施設を認定し、より BPA および CTEPH 診療を発展させ、安全な BPA を継続して施行し、CTEPH 患者の予後、QOL を改善するためにも必須なレジストリーです。趣旨にご賛同いただきご寄附を賜れますと幸甚に存じます。

2025 年 2 月吉日

<問い合わせ先>

一社) 日本循環器学会学術委員会 BPA ワーキンググループ担当
Mail:academy@j-circ.or.jp